

平成 31 年度リスクコミュニケーション計画（案）

1 ターゲットとテーマ

主なターゲット		テーマ（候補）
世代別	大学生	カフェイン、健康食品、食品の表示
	子育て世代	食物アレルギー、遺伝子組み換え食品、食品添加物、食品の表示
	シニア世代	健康食品、食中毒
その他	府北部エリア	放射性物質*

* 放射性物質への府民の関心は低くなっているが、食の安心・安全審議会放射線部会において、「風評被害に惑わされず消費行動をするため、リスクコミュニケーションに重点をおくべき」との意見があり、実施するもの。

2 開催方法

(1) 府独自での開催（3回）

場 所：京都府内

講 師：専門家、府職員等

(2) 消費者団体、大学等と連携した開催（3回）

場 所：京都市内

講 師：食品安全委員会、消費者庁等からの専門家等

(3) 各広域振興局での開催（4回）

テーマ：地域の特色を活かしたテーマ

講 師：府職員、地元生産者 等

(4) 府職員による出前語り等(10回)

- ・依頼に応じて実施（大学への出講等も含む）
- ・府機関が開催する公開講座等

計 20回

(参考)

食の安心・安全推進課が主催した主なリスクコミュニケーション

<平成30年度>

- ①「食品のリスクとカフェイン」 【大学生】
- ②「アクリルアミドの低減」等 【南丹及び丹後地域の消費者団体】
- ③「子どもの食事と食物アレルギー」 【子育て世代の府民】
- ④「放射線・放射性物質」 【生産者団体、市町村職員等】

<平成29年度>

- ①「アクリルアミドの低減」等 【山城地域の消費者団体】
- ②「食中毒予防」 【食品関連事業者】
- ③「枝豆栽培と農薬の安全使用」 【幼児・小学生と保護者】
- ④「子どもの食事と食物アレルギー」 【子育て世代の府民】
- ⑤「食品添加物について」 【消費者団体会員、一般府民】

<平成28年度>

- ①「塩と健康～あなたの塩分摂取は大丈夫？～」 【一般府民】
- ②「食中毒について考えよう」 【小学生と保護者】
- ③「食品添加物って？一緒に考えてみませんか」 【一般府民】
- ④「食品中の放射性物質について」 【一般府民】



食中毒予防 (H29)



食品のリスクとカフェイン (H30)